幽玄の美

しょうどしま 議会だより

No. 74
Autumn

contents

審議議案
9月定例会
一般質問
7人の議員が質問
7月臨時会
議会あれこれ

2024 令和6年11月1日発行
小豆島町

第3回　定例会（会期10日間　9月11日～20日）

今定例会では、令和5年度決算認定、条例案件6件、予算案件2件、その他案件2件等が提案され、この内6件は常任委員会・特別委員会で付託審議ののち、全て原案通り可決されました。

総務建設常任委員会付託審議議案

《条例の一部改正》

【オリーブ公園条例】
【オートビレッジＹＯＳＨＩＤＡ条例】
【健康生きがい中核施設条例】

健全な施設運営を図るため、施設の一部廃止・温浴施設等などの利用料金体系等の改定を行うものです。

【ふるさと村条例】

運営改善のため、宿泊施設、交流ふれあい農園やイベント広場などの施設料金の改定を行うものです。

《指定管理者の指定》

【坂手ポートターミナル】

令和7年4月より小豆島坂手ポートターミナルが運営されることから、指定管理者の指定を新たに行いました。

▼相手方

（特非）小豆島坂手ポートターミナル振興協議会

サン・オリーブ

《一般会計補正予算》（1億2055万円）

◎オーバーツーリズム対策事業

【モビリティ車両シェアリング事業】（989万円）

ＥＶバイク等の環境に配慮した車両を整備し、観光客でシェアすることで、2次交通の充実を図るものです。

【バスロケーションシステム導入事業】（1300万円）

バス運行状況を把握し、混雑解消や臨時便の適正配置を行うものです。

【多言語案内看板および分別ゴミ箱設置事業】（1070万円）

◎児童手当制度拡充事業（1705万円）

所得制限の撤廃により、高校生まで支給拡大されたことや第3子以降の支給額が3万円に増額され、第3子以降に含める年齢の幅が18歳から22歳へ拡大されたことなどによるものです。

◎新型コロナワクチン接種事業（1660万円）

新型コロナワクチンの接種単価見直しに伴い、委託料を増額するものです。

◎池田小学校体育館空調設備等整備事業（528万円）

指定避難所である体育館に、空調設備等を設置するための実施設計を行うものです。

◎ふるさと村設備等修繕事業（499万円）

経年劣化した宿舎客室・消防設備・大浴場等の修繕を行うものです。

ふるさと村

◎町道落石対策事業（1250万円）

町道坂手瀬戸馬戸線落石防護網の更新を行うものです。

《条例の一部改正等》

【国民健康保険条例】・【香川県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更】

令和6年12月2日から被保険者証廃止によるものです。

▼反対討論

マイナ保険証は任意であるため、保険証の廃止を撤回し、残すべき。

▼賛成討論

保険証に代わる資格確認書は、国で関係法令が既に可決されており、必要な改正である。

※賛成多数で可決されました。

決算特別委員会
～議員の着眼点～

毎年9月の定例会では、前年度の歳入歳出決算を審査するため、特別委員会が設置されます。
今年度は、9月13日から3日間かけて予算が適正に執行されたか審査するとともに、各種資料に基づき施策を評価し、20日の本会議において賛成多数で認定されました。

令和5年度歳入・歳出決算総額

歳入　128億6270万1千円　　**歳出　115億6355万円**

前年度と比較して歳入歳出決算総額は、物価高騰対策関連事業を行ったことなどから、大幅な増加となりました。

▼ふるさと納税推進

髙橋議員

シャワーヘッドが地場産品として今年度秋から復活した。ふるさと納税の収入増加を期待。

羽田議員

まちづくりの貴重な財源である。寄付者の意向を踏まえ、子育て支援や産業振興等に有効に活用しており、より一層推進すべき。

ふるさと納税返礼品

▼ONSENガストロノミーウォーキングin小豆島

ONSEN ガストロノミーウォーキング開会式

髙尾議員

観光の閑散期に開催されたイベント。全国からも注目されているので、通年の観光客の誘致につながることに期待。

▼新規就農者確保事業

大下議員

新たな農業経営者に交付されるが、対象者の認定は適正か。農業の規模も問わず、要件が緩くはないか。また、投資効果はどうか。

原資は税金、偏っていないか。

▼高校生留学支援補助

鍋谷議員

海外に一定期間以上語学留学する際に補助する制度が始まって初の1件利用があった。

補助事業を活用し、人材育成の後押しとなることに期待。

▼財政健全化法に基づく報告

健全化判断比率の4指標と、介護保険施設事業の資金不足比率についてすべての値において健全な状態であると報告されました。

町の収入に対する借金の比率である実質公債費比率が0.4ポイント改善し、5.8％となりました。

今後も大型の社会資本整備等に取り組むことから、事業の規模、必要性、優先性を検討しつつ適切な財政運営が求められます。

町政へ 一般質問

議員が行政全般にわたり、住民の声や自身の調査研究をもとに、町長や教育長などの執行機関に対し、事務の執行状況や方針などについて質問したり、報告や説明を求めたりすることです。

質問内容	質問者	掲載ページ
▷移動販売で買物支援を	大下　淳	5ページ
▷災害協力井戸の登録制度を		
▷人口減少への対策は	髙橋　淳	6ページ
▷独居高齢者への対策は		
▷役場跡地の活用は		
▷連絡体制のデジタル化を	安井　信之	7ページ
▷移動手段の基本的な考え方は		
▷ふるさと村職員の待遇改善を		
▷統合小学校のコンセプトとポイントは	川井　茂	8ページ
▷南海トラフ地震臨時情報の対応は	羽田　満	9ページ
▷統合小学校にかかる説明会は		
▷草壁・高松航路に関して	中川　光秋	10ページ
▷エアコン購入補助金の新設を	鍋谷真由美	11ページ
▷統合小学校は町民の声を聞いて		
▷職場のハラスメント対策は		
▷万博に子どもを参加させないで		

動画配信中

本会議での一般質問の様子を『YouTube』で録画配信しています

こちらから

傍聴できます

本会議はどなたでも傍聴できます『傍聴』を希望される方は、本会議当日に、議会事務局までお越しください

こちらから

大下　淳（おおした　あつし）

質問者の動画はこちらです

問 移動販売で買物支援を

答 新たな補助制度は考えていない

問 以前は商工会職員による移動販売があったが、今はない。現在は大手スーパーなどによる移動販売で広い範囲の買物を支えてくれている。買物難民が増える今、事業者等への補助制度を作って移動販売が出来るよう支援の充実を図っては。

答 現時点で地域からの要望などは聞きおよんでいない。また、高齢者人口も減少し、事業者の新規参入も見込めないため、新たな補助は考えていない。

移動販売

3年後は…

問 今回は運転免許を更新できたが、3年後はわからないという人も多い。今は元気でもいつ何が原因で買物難民になるかも知れないし、増えていくだろう。

昨年、循環バスが実証運行されたが重い荷物を持って帰ることから買物にはあまり利用が無かったのでは。

町内は適当に集落があり、つなぐ道も整備されているので移動販売に適した環境にある。住民同士のコミュニティも生まれてくるが。

答 事業者とはサービスの提供について意見交換しており、様々なニーズに対応できるよう努めてまいりたい。

問 災害協力井戸の登録制度を

答 取り組んでまいりたい

問 南海トラフ地震などが発生すれば長期間におよぶ停電や断水が容易に想像できる。各機関との連携協定はあるが、被災者になると救援はあるのか不安になる。電気や水がない中でも生きてゆかねばならない。飲料水があっても、生活用水が不足する。猛暑だったら大変な状況になるのでは。この窮地を救うために井戸を活用すべき。

答 大規模災害や渇水時など、復旧・給水体制が整うまで地域の中で井戸を共有使用することは良い取り組みであると考えている。

逃げ出す町から逃げ込める町へ

問 災害に際し、共助の一つとして、長期間断水になっても水が使える町になれるよう井戸の登録制度を進めていただきたい。

答 香川県が制度のガイドラインを検討中であり、井戸の所有者の善意の協力になることから過度の負担にならない配慮など県とともに検討し、実施に向けて取り組みたい。

災害時使用可能な井戸

髙橋（たかはし）　淳（じゅん）

質問者の動画はこちらです

問 人口減少への対策は

答 子育て世代への支援を拡充させる

問 人口減少や少子高齢化が進んでいるが、町の取り組みと対策は。

答 本町の人口は、昭和21年をピークに78年間一貫して人口が減少している。

人口減少は克服するのが困難な課題であり特効薬がない。

国全体の課題として、若い世代が安心して子どもを生み育てられる社会を実現するかにかかっている。

私のミッションは、戦後、克服出来なかった人口減少を少しでも緩やかにし、次代に夢を繋ぐ持続可能な町づくり島づくりに全力投球することである。

問 テレビ番組で、隠岐の海士（あま）町が取り上げられ、島の産物である魚介類とその加工品を都会の飲食店等に売り込み、町の財源にしている。

統廃合寸前の高校は島留学制度を作り、島外からの留学生が増え、現在も若い人がどんどん移住し、活気のある島になっている。

取り組みによっては小豆島を活気ある島に再構築することも可能だと思うが。

答 隠岐は豊かな海産物が売れて持ち直しているが、小豆島では産業面で全国的に競争出来る量が無い等、難しい面がある。

外から学生を募集する取り組みは必要であり、昨年度から、小豆島中央高校をどうやって維持、発展させるか県教育長と話しをしている。

島の企業経営者には、島の活性化のために、一層の経営努力をしていただき、若い社員の処遇改善に目を向けていただきたい。

こちらも質問

問 役場跡地の活用は

答 国道拡幅工事中は資材置場に使用

問 独居高齢者への対策は

答 ネットワークの強化に努めたい

問 独居高齢者の見守りが必要だと思うが。①専門職員の採用②近所の見守り、サロン活動等、共助システムの強化③GPSの使用等で見守りを強化する事が出来ないか。

答 独居高齢者の見守り対策は、専任職員の配置ではなく、地域の中で住民リーダーを養成し、町内各地で支え合う仕組の構築を目指す事としている。

老人クラブ活動

安井（やすい）　信之（のぶゆき）

質問者の動画はこちらです

問 連絡体制のデジタル化を

答 香川県防災情報メールの登録を

問 緊急性がある事項は、より早い対応が求められる。新たな連絡体制を作る必要性があるのではないか。

答 南海トラフ臨時情報等の発表時の対応として、県は市町や消防本部に速やかな情報を伝達し、防災情報メールや県ホームページ、SNSの活用など、多様な手段で住民への情報提供を行っている。また、市町は防災行政無線などでの情報発信と自治会等への連絡を行うこととなっている。

地震発生から1週間は、日頃から地震への備えの再確認や、揺れを感じたら直ちに避難できる体制を取るよう呼び掛けるため、自治会へ速達で周知した。

デジタル化への対応は総代、自治会長に、香川県防災情報メールの登録をお願いしたい。

問 移動手段の基本的な考え方は

答 持続性ある移動手段を検討したい

問 バス停から遠いエリアの住民は、ライドシェアなどの手段を検討されているが、近い距離の移動手段も検討すべきでは。

答 地域内循環バスの実証運行の結果、定時定路線の循環バス方式では需要も少なく、経済的に維持できない。

まずはバス停から遠い所に住む住民の率直な希望を伺い、実現可能な持続性のある移動の助成やシニアカーの導入など幅広く検討したい。

問 ふるさと村職員の待遇改善を

答 経営改善に取り組むよう指示した

問 職員の確保ができず様々な業務に支障が出ている。職員の処遇改善の対応は。

答 施設の老朽化やニーズの変化により経営が苦しくなる中、コロナ禍でさらなる経営不振に陥ったふるさと村の収益性が見込めない施設の管理費用は、町が指定管理料として負担している。

事業収入を確保できれば、経営状況の改善や職員の処遇改善を最大のミッションとして、経営改善に取り組むよう指示した。

人手不足については小豆郡雇用対策協議会と両町連携の下、特定地域づくり事業協同組合の設立に向けて協議を進めている。

川井　茂（かわい　しげる）

質問者の動画はこちらです

問 統合小学校のコンセプトとポイントは

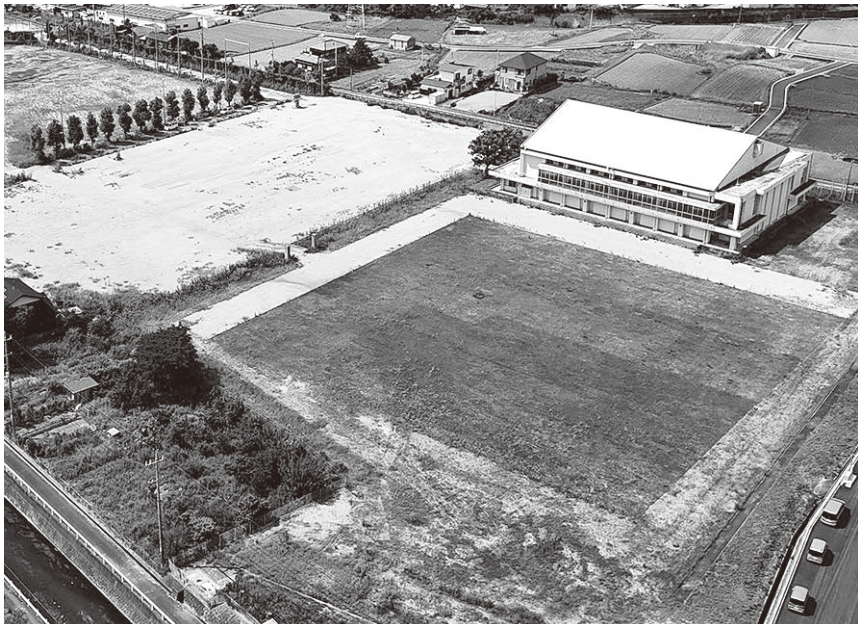
答 総合教育会議で決定したい

問 令和9年4月開校の統合小学校の校舎建設は、本年度に調査および設計を行い、8年度で施工完了予定と聞いている。
　現時点において、統合小学校のコンセプトや基本方針、また、校舎やその他施設を建設する上で、町が特に注視しているポイントは。

答 統合小学校は、「ふるさとを愛し、人間性豊かで、たくましく未来に生きる人づくり」の実現や、新しい教育の推進と様々な課題に対応しつつ、学校協働本部を核として、地域に支えられた学校づくりを目指したい。

問 草壁財産区から木材提供の提案があったと聞く。小豆島には、木材にかかわらず、石材等の地産のものがある。特に、地産地消の観点から、この財産区の提案をどのように進めていくのか。

答 全体構造の主体としては木材は使用できないため、シンボル的に玄関の壁面や腰壁、また、図書室の本棚への活用等の可能性がある。今後、財産区とも協議しながら前向きに考えていく。



統合小学校建設地

問 現存の旧小豆島高校の体育館を改修すると聞く。新しく小学生用の体育館を新築する選択肢はあるのか。

答 エアコンの設置や大規模改修を実施し、現在の体育館の利用を考えている。

問 廃校となる苗羽、安田、星城の跡地はどう考えているのか。

答 地元と協議しながら、今後の利活用を検討していく。

羽田　満（はだ　みつる）

質問者の動画はこちらです

問 南海トラフ地震臨時情報の対応は

答 災害対策本部を設置する

問 8月8日に日向灘を震源とする地震が発生し、南海トラフ地震臨時情報がニュース等で頻繁（ひんぱん）に報じられた。町の対応、体制はどうなっているのか。

答 南海トラフ地震臨時情報が発表された場合は、各課等で情報共有を図り、各種情報の収集体制を整備し、災害対策本部を設置する。

今回の地震は、町内や周辺地域で大きな震度の観測や、香川県に津波警報が発令されていないことから、災害対策本部は設置していない。

8月9日午前中に連絡会議を実施し、気象庁からの情報を基に庁舎内で情報共有を図り、今後の対応について職員に周知した。

問 非常食等防災グッズの購入補助金の導入は。

答 今は考えていない。普段から食料品等を少し多めに備えるローリングストック法での備蓄をお願いしている。

防災用備蓄食

問 統合小学校にかかる説明会は

答 10月下旬から説明会を実施したい

問 本年度に各小学校区で保護者や地域の皆さんに説明会の開催を予定しているが、進捗（しんちょく）状況を含め、いつ頃になるのか。

答 6月に内海地区小学校統合準備委員会を設置し、7月11日に第1回を開催した。

委員は、各校2人、内海地区幼稚園、保育所、せいけんじこども園、4小学校の校長、各学校運営協議会代表、自治連合会、議会の18人で、開校までに決定すべき様々な事項を協議、決定する。

10月中旬には新校舎の基本設計が概ね完了し、校舎外観イメージや教室配置図などができる見通しなので、10月下旬から順次、各小学校、幼稚園、保育所、こども園の保護者の皆様に説明会を実施したい。

統合小学校建設地

中川（なかがわ）　光秋（みつあき）

質問者の動画はこちらです

問 草壁・高松航路に関して

答 協議の場へ四国運輸局が参加

問 草壁・高松航路に関する「協議の場への国交省の参加要請について」、町長が国土交通省へ訪庁された際の面談内容は。

答 7月19日、国土交通省海事局内航課を訪問し、内航課長と面談、国土交通省の考え方を伺った。企画調整官から元町長宛てのメールにあった「地方自治体より話合いの場への参加の要請があれば対応を検討する」という文言の真意を確認したところ、四国運輸局に出席させる意味であり、全ての案件を本省で対応することではない。中川議員のこれまでのご認識には大きな誤解があることも分かった。

また、草壁高松航路は、「小豆島は池田、土庄等各集落を結ぶ路線バスもあり、所要時間を勘案すると必須の移動手段を確保するために、草壁高松航路が不可欠であるという説明は困難であり、国として離島航路補助の対象とすることもできない。」とのことであった。

問 指定区間に関して、現状はどうなっているのか。

答 指定区間およびサービス基準の見直しについては、毎年度4月に国土交通省から、香川県へ見直しの意向調査があり、それを受けて香川県から小豆島町に見直しの意見照会がある。

町の回答は、「意見なし。見直しの必要なし」としており、指定の解除やサービス基準の見直しを要望したことはない。

問 航路再開が困難であるにも関わらず、依然として指定区間であることから、再開を待ち望む多くの町民も納得いかないのではないかと強く感じているが。

答 議会や町民の皆様から指定区間の廃止要望があり、航路事業者の賛同が得られれば、町として指定区間の廃止を意見具申することもやぶさかではない。

内海湾

鍋谷真由美（なべたにまゆみ）

質問者の動画はこちらです

問 エアコン購入補助金の新設を

答 省エネ家電購入補助金を検討

問 異常な暑さが続き、熱中症が増え、さらに物価高の中、特に生活困窮者は古いエアコンで電気代がかかる、壊れても買えないなどの状況である。

エアコン購入補助や省エネ家電購入補助制度を新設してはどうか。

答 省エネ家電購入補助金は、家庭で取り組める地球温暖化対策であり、県内の自治体等の取り組みなどを参考に研究・検討したい。

生活困窮者は、社会福祉協議会の生活福祉資金貸付制度で対応。そもそも、生活困窮者の定義が非常に難しい。

古いエアコン

問 統合小学校は町民の声を聞いて

答 準備委員会を通じてお聞きする

問 小学校統合準備委員会は、傍聴を認め、ニュース配布、保護者・住民説明会や議事録の公開など町民への公開・周知をすべき。

答 会議資料や議事録はホームページに掲載、広報紙にも必要に応じて掲載。保護者に会議開催や傍聴の案内をする。

問 各校の歴史と伝統を引き継ぎながら、未来に向けて島外にもアピールできる今の時代に合った新しい小学校をつくることが求められているのでは。

答 伝統ある特徴的な教育活動やふるさと学習のよいところを選んで、すばらしい統合小学校を目指したい。

問 アンケートやワークショップ、意見募集を行い、特に、子どもの意見表明は大切にしていただきたい。

答 準備委員会等を通して幅広く町民の皆様の声をお聞きする。

こちらも質問

問 職場のハラスメント対策は

答 規則や指針に則り対応している

問 万博に子どもを参加させないで

答 現時点では考えていない

第3回臨時会（7月29日）

契約案件2件、予算案件1件が提案され、すべて原案通り可決されました。

《契約案件》

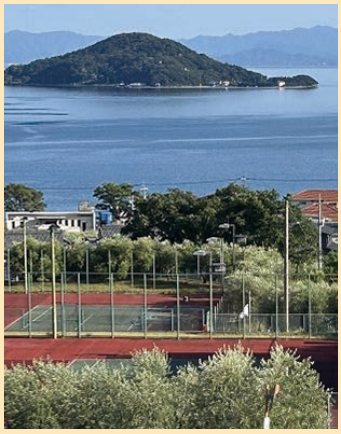
◎小豆島オリーブ公園テニスコート施設撤去工事
▼相手方　㈲大和建設
▼契約金額　5742万円

◎内海港芦浦岸壁防食工事
▼相手方　高尾石材㈱
▼契約金額　5775万円

《補正予算》

◎スマートアイランド推進実証調査事業　2400万円

◎福田公民館およびこどもセンターのエアコン修繕　400万円


オリーブ公園テニスコート

議会あれこれ

◎全員協議会の開催

8月23日に、（一財）小豆島ふるさと村および（一財）小豆島オリーブ公園の運営改善の取り組みについて、全員協議会を開催しました。

ふるさと村職員の処遇・経営改善、インバウンドによる観光客増が見込まれることから、ふるさと村客室等の修繕を行うことや経営改善のため、サンオリーブ温浴施設等の料金改定について議論しました。

◎小豆郡議長会研修会

7月31日に「VR技術を用いた防災対策について」をテーマに火災や津波のVR体験をしました。

VR体験の様子

7月
5日　広報編集特別委員会
8日　広報編集特別委員会
11日　全国離島振興市町村議会議長会研修会
24日　香川県広報発行町議会連絡協議会定例会研修会
29日　議会運営委員会
29日　第3回臨時会
31日　小豆郡議長会研修会

8月
7日　香川県町議会議員研修
9日　香川県離島振興市町村議会臨時総会研修会
23日　全員協議会
29日　小豆郡町議会議長会

9月
4日　議会運営委員会
11日　第3回定例会（1日目）
13日　決算特別委員会①
17日　決算特別委員会②
18日　決算特別委員会③
20日　第3回定例会（2日目）

編集後記

▼今年の日本列島は年初から多くの自然災害に見舞われました。
▼1月には能登半島地震が発生し、多くの人命や建物、インフラ等に多くの爪痕を残しました。
▼2月～4月の冬季には日本の広い範囲で大雪をもたらし、交通機関や建物、インフラに被害をもたらしました。
▼4月には豊後水道を震源とする地震が発生。
▼7月には秋田県や山形県を中心に豪雨が発生し、大規模な浸水被害が確認されました。
▼8月には日向灘を震源とする地震が発生し、「南海トラフ地震臨時情報」が発表されました。
▼また、台風10号の影響で東かがわ市と小豆島に線状降水帯が発生し、馬木川周辺ではひざ下まで水があふれ出ました。
▼これからもまだまだ多くの災害が予測されますが、あの穏やかな瀬戸内海式気候はどこに行ったのでしょうか。

これからも気を付けて安全に過ごしましょう。

塩田　洋介　記

本紙に対するお問い合わせは
■発行　小豆島町議会　■編集　小豆島町議会広報編集特別委員会
〒761-4492　香川県小豆郡小豆島町片城甲44-95　TEL (0879) 82-7060　FAX (0879) 82-7061
E-mail　olive-gikai@town.shodoshima.lg.jp